

地球温暖化に伴う海の温度上昇や酸性化で2050年までにほとんどの地域のサンゴ礁が打撃を受け、特に漁業や防災面で恩恵を受けているオセアニアや東南アジアの人々の生活に悪影響を及ぼすとの予測を、国際チームが9日付の米科学誌に発表した。日本や中国などでは将来、酸性化の被害が深刻になると予想している。

温暖化でサンゴ打撃

チームは「サンゴ礁の消失で大きな影響を受ける国の多くは信頼できるデータが少なく、国際社会が連携し、調査研究を進めるべきだ」としている。サンゴ礁には、浸食から海岸線を守る役目や、漁場、観光への利用などの役割があるが、海水温が上がると

世界の漁業、防災に悪影響



白化して死んでしまう恐れがある。チームは、サンゴ礁での漁業の状況などの国別統計データを解析。海温上昇などによるサンゴ礁への影響は太平洋の熱帯域に集中し、影響を全く受けない地域はないことが分

かった。フィリピンではサンゴ礁から約7億ドル、インドネシアでは1億ドルの漁獲を得ているが、打撃を受ける恐れがある。また長期的には、大気中の二酸化炭素が海に吸収されることで起きる海洋酸性化で、サンゴ礁が被害を受けるとみられ、影響が大きいのは、日本など比較緯度が高い地域であることも判明した。

①サンゴ礁の果たす役目と役割は何ですか。

②温暖化を防ぐために、自分にできることを書きましょう。

2016年11月10日 朝刊

年 組 名前

(小学校高学年・中学・高校 理科・総合)